

偏見や憎悪 に対抗する

あなたや周囲の人々が人種・宗教・性自認・性的指向・年齢・障害、あるいは何らかのアイデンティティに基づく差別の対象になっていることに気づいたら、関係当局に通報することが重要です。

支援

あなたや周囲の人々が偏見や憎悪による被害を受けた場合、加害者の影響を受けない、安全な場所に避難してください。誰かが偏見や憎悪による被害を受けている現場を目撃したら、被害者を一人にせず、その人を助けましょう。

事件を記録

偏見や憎悪による被害の記録を残しておけば、捜査時の重要証拠になります。安全にできる範囲で記録を残しましょう。

- 事件を録画または写真撮影する。
- 物的証拠を保管する。
- 事件が発生した日時、場所、当事者（あるいはその人物像）に関する詳しい記録を残す。

関係当局へ通報

関係当局へ直接通報するか、関係当局の関係者や、その場に居合わせた責任者（バス運転手、警備員、受付担当者など）に通報を依頼します。また、あなたが個人的に信頼している人に協力してもらって関係当局へ通報してもよいでしょう。

誰かが危険にさらされていたら、ダイヤル111へ通報してください。

Scan the QR code for reporting and support options

